

三 枝 樹 正 道

兒童教化は近時著しく發達して都市は勿論如何なる田舎でも何等かの施設のない所は殆ど無い位にまで隆盛になつたことは誠に喜ばしいことである。凡そ世のあらゆる事實はその始めが最も大切である。植物に於てもその苗代の間に充分の培養をせないで成長して後に完全に實を結ばない如く人類にあつてもその幼時に充分の教養を與へないと成人して後に完全に發達し活動することは出来ない。今や兒童に對する世の關心は大いに高まり日曜學校、子供會その他種々の兒童保護運動並に事業は盛に創始され、いかにも兒童の世紀を如實に顯して來た。元より是れは欣ばしき現象である。

然し乍ら是れが單なる一時の流行にして徒らに歐米諸國の模倣であり、或は又低級なる常識のみによつて行はれるならば、そは吾が日本民族にとつて且つは此尊き事業にとつて殆んど何の貢獻する所も無いであらう。日本民族には日本民族の特長あり又短所あり、加之兒童教化事業には又此事業獨特の範圍と對象とがある。即ち他の社會事業と異つた境地を所有してゐる。茲に此事業に對する研究と創造の必要と價值がある。模倣を徒らに排斥し、常識を無下に放棄するのではないが、かゝる流行的現象にあつては多くはこれに對して何等の批評をも加へず、反省もせずして、その儘に踏襲される事が頗る多いのである。此れを思ひ彼を考ふる時、現時の兒童教化事業に對して轉た感

慨に堪えないものがある。本校に兒童研究部の設置されたるも誠に宜なることと思ふ。

大智は大慈を生ず。眞に知る所に眞の愛情が生ず、兒童に對する眞の研究は兒童に對する眞の愛情となる。茲に始めて力ある正しき事業は遂行されるのである。かくて始めて生命ある兒童教化運動となることが出来る。

凡そ研究には自ら實驗し自ら體得してゆく法と、先輩の研究を其著述を通じて又は其講義に依つて是れを認識する法とがある。然し乍らその何れか一法の方に依ることは一は常識に墮し易く他は踏襲模倣に流れ易い。吾が兒童研究部は夙に茲に留意して各月に研究會、科外講演を開催して先輩の研究の跡を探查し側ら毎日曜日には各員所屬の日曜教團に於て實際の活動をなし自ら大いに研鑽をなせる次第である。未だ日尙は淺くしてその貢獻する所少きは甚だ遺憾である。

扱此度會員の間に鬱勃たる研究心を抱き兒童に關する基礎知識を得んとしつゝも、いかなる著述の世に公にされたるやを知るに多大の苦心をなすことあるは誠に遺憾の極みなるにより少くとも京都、大阪の府、市立圖書館及學校附屬圖書館に在る兒童研究に關する圖書目錄を作製し且つかゝる新著をもこれに附記して研究者は一目以てその圖書の概要を知ると同時にその所在を知り直ちにこれを讀書し得るよう便宜を計らんとの企圖ありて着々その運びに進みつゝあり。

吾人はその發表の一日も早からんことを希念して止まざりしが不幸にして種々の思ひがけなき障害の爲に遲延して未だその

インターネット公開許諾のない文章には
墨消し処理を施しています。

完成を見ざるは残念であるが、此度文書部の厚意により摩訶衍
の附録として數頁を割愛されしを以て近時發行の現在に於ける
重要圖書の數種にてもこれに揭示しては如何と思ひ、かく有志
の研究の一部を發表する次第である。参考の一助ともなれば幸
甚である。